

I 類 B 行政（一般方式）

行政（一般方式） 専門問題

平成25年 5 月施行 職員採用試験

指示があるまで開いてはいけません。

注 意

1. 問題と解答用紙は別になっています。必ず解答用紙に解答してください。
2. 問題は10題あります。そのうち 3 題を選択して解答してください。
3. 解答時間は 2 時間です。
4. 解答に当たっては、解答用紙の表紙に記載された注意をよく読んでください。
5. この冊子は持ち帰ることができますが、解答用紙は絶対に持ち帰らないでください。

次の出題分野10題のうちから3題を選択すること

1. 憲法 法の下の平等の意義について述べた上で、平等原則違反の違憲審査基準について、最高裁判所の尊属殺重罰規定違憲判決に言及して説明せよ。
2. 行政法 行政上の不服申立ての意義を述べた上で、行政上の不服申立てに係る教示制度について説明せよ。
3. 民法 動産の即時取得の意義、要件及び効果について説明せよ。
4. 経済学 損益分岐点及び操業停止点について、図を用いて説明せよ。
5. 財政学 租税負担の配分原則である利益説及び能力説について説明せよ。
6. 政治学 小選挙区制及び比例代表制の仕組みについて、それぞれ長所と短所に言及して説明せよ。
7. 行政学 行政委員会及び審議会について説明せよ。
8. 社会学 バージェスの同心円地帯理論について、同心円地帯理論に対するホイットの主張や、ハリスとウルマンによる批判にも言及して説明せよ。
9. 会計学 企業会計原則の一般原則のうち、正規の簿記の原則について、重要性の原則に言及して説明せよ。
10. 経営学 ポストン・コンサルティング・グループの開発したプロダクト・ポートフォリオ・マネジメントについて、その問題点にも言及して説明せよ。